

たとえば、こんな
齋藤さんの1週間

接客から経理まで店の仕事を全て一人でこなすのは大変ですが、自分のペースで働けます。



Monday..... 休み

月曜は定休日。自宅でのんびり過ごすことがほとんどですが、市営定期船に乗って鳥羽市街まで買い物に行くこともあります。

Tuesday..... 仕事

お客様がどんな髪型にしたいか、要望を聞きながらカットをしていくのは愛知でも答志島でも同じ。高齢の方が多いので、カラーより白髪染めのほうが多いんですよ。



Wednesday..... 仕事

店は9時オープンなので、毎朝8時半には出勤します。自宅から職場までは原付でたった2分と近いので、通勤はラク。港の潮風を感じながら走るの爽快です。



Thursday..... 仕事

19時頃には店を閉めます。店が終わるくらいに友達遊びに来て、そのまま2階のソファで飲みはじめます。

Friday..... 仕事

空き時間には、店の2階で経理などの事務作業。Wi-Fiでインターネットにも繋がっています。接続の速度も問題なく、仕事で使っていても困ることはないですよ。



Saturday..... 仕事

毎日5名ほどの予約があり、その受付や管理も自分で行います。「今空いてる？」と飛び込みで来てくれる人もしばしば。

Sunday..... 仕事

仕事の後は、お酒を飲んでリフレッシュ！友達のお母さんが経営している桃取地区唯一の居酒屋「とくちゃん」に仲間が集合します。鳥羽市街に暮らしている友達と飲むこともあります。



取材メモ
美容師ならではの洗練された雰囲気を持つ齋藤さん。爽やかな笑顔と相手目線に立ったコミュニケーションが、小さい子からお年寄りまでに愛される秘訣です。金銭的ではなく時間的に精神的に満たされる、憧れのスロライフを実現していると感じました。



小さい頃から海は友達

齋藤さんの鳥羽ライフ

①今でも海が大好き！サーフィンもします
②天気の良い日は、伊良湖の海岸から答志島が見えることもあります
③答志島の先輩と一緒に車に乗り合わせて行きます



休みの日には志摩市にある国府の浜や愛知県の伊良湖までサーフィンに出かけることもあります。他にも海岸でパーベキューを楽しんだり、海辺での遊びが多いですね。

みんな顔見知り！温かい雰囲気が魅力

答志島には小さい頃から知っている人がほとんどで、道ですれ違う人みんなに挨拶をするのが当たり前。Uターンして桃取地区で家業を継いだり開業した同世代も何人かいて、話も弾みます。



④店の隣にある「鳥羽志摩農協桃取支店」のみさん ⑤「さいとう整骨院」を開業した先輩

子どもたちに癒される♪ 地域祭りに積極的に参加します

⑥子どもと触れ合うと家族を持ちたいという気持ちが強まります
⑦悪いことを人形に乗せてわら船で流すと厄払いになります ⑧桃取地区の海で透明度の高い海が自慢！
⑨子どもたちの人気者！手紙をもらうことも



店の前には、保育所の散歩コース。休憩時間中、外で会うと可愛い園児たちが「まさほく〜ん」と声をかけてくれます。子どもたちが一生懸命描いてくれた絵や手紙は宝物！

お財布事情
外食代が毎月約3万円。他には鳥羽マリターミナルの駐車場代が毎月1万円、洋服などの雑費が1万円ほど。実家暮らしなら、5万円あれば十分。父親が海士をしているので、ご近所さんと食材を物々交換することも。

買い物や昔の仲間へ会いに愛知に行くことも
ゆっくり時間が取れる時は洋服を買いに行ったり、前勤していた美容院の仲間に会いに行きます。●名古屋へのアクセス/鳥羽マリターミナルに停めてある車に乗り換えて、伊勢自動車道、東名阪自動車道経由で約2時間半



⑩お客さんに高齢者が多いので、店内はバリアフリー設計にしています

縁あって 三重に住んでいます

No.4 美容師 都会で腕を磨いて 生まれ育った島で美容院を始めました



齋藤 正峰さん(31)
伊勢市内の高校を卒業。四日市の美容院で働きながら、美容専門学校で通信制で学ぶ。愛知県の系列店舗で勤務後、2013年に故郷である答志島に戻り、美容院「PRISER」を開業。

生まれ	学校	仕事	仕事
鳥羽	鳥羽	四日市 美容	鳥羽

夢だった自分の店は故郷に出して正解だった
美容師を目指そうと思ったきっかけは？
「動機は単純で、中学の頃からファッションに興味があった。その延長で自分で髪をセットしたり切ったりしてうちに興味が出て…。実家の漁師を継ぐ道もあったのですが、美容師の勉強をして10年ほど愛知県の美容院で働き経験を積みました」

やはり独立する時は故郷に戻りたかった？
「たまたま、島に土地が空いたという話を聞き、これも縁だなと。当初、周囲からは店を出すなら市街地がいいと心配する声もありました。それでも土地が安く、スタッフも自分一人ならやれると決断しました。店舗は中学から仲の良い同級生が建ててくれました。自分の店をここにしておかたと思えます」

島で働くようになって生活に変化はありましたか？
「時間の使い方はですね。愛知で働いた時は朝早くから夜遅くまでアクセク働き、休みも少し。忙しいことで充実しているように錯覚していたかもしれませんが、反面、ここは人口も少なく、売上はゆっくり流れる時間のなか自分のペースで働ける」
鳥の上限はおのずと決まっていますが、その分お金に代えられない自由な時間が多いので、とても満足しています。ほぼ毎日お客さんも来てくれます」
仕事以外は何をして過ごすごが多いですか？
「2日に1度は仲間と飲みに行きます。一度島を出て戻ってきた人は境遇が似ているので相談したり。たまには島の将来の話もしますよ。すぐ酔っ払っちゃいますけどね(笑)」



⑪市営定期船がとまる桃取漁港はこの地区の玄関口。店からは徒歩5分ほどで着きます



⑫島の街並みに調和するように、木目調のシンプルな外観にしました



⑬吹き抜けで明るく開放感のある店内で、ゆったりくつろげます



⑭帰ってきたことを島の人が喜んでくれ、店に来てくれるのがうれしい
⑮愛知で働いているころから使っている3種類のハサミは今でも良き相棒